

「ミス」をなくし 患者さまから信頼される薬局へ

岩手県盛岡市に店舗を構えるみづち薬局は、2008年の開局当初から「ミスゼロ子」を導入している。調剤ミスのチェックはもちろん、店舗の在庫管理にも活用され、今では「ミスゼロ子」のない薬局業務は考えられないほどだという。同薬局のほか2店舗を東北地方に展開するGGファーマシーの佐々木俊氏に、その有用性を聞いた。

——監査機器を導入したきっかけを教えてください。

私はMRとして25年働いた後に薬局を開きました。自分の薬局を開く前に大阪のある薬局に“修行”させてもらっていたんですが、そこで調剤業務をしていたときに大きな不安を感じたんですね。薬を患者さんに渡した後に、規格は合っていただろうか、錠剤の数はきちんと合っていただろうか、と不安で仕方ありませんでした。ほかの薬剤師を見ていて、どうして皆さんそんなに自信があるんだろうと不思議だったほどです。

これは自分の薬局を開いて一人で調剤をしたら夜も眠れないだろうと思っていました。そんなときに学会の機器展示で監査機器を見たのがきっかけです。



店舗外観。お花や緑がいっぱいの癒される空間。

——それが「ミスゼロ子」だったわけですね。

はい。当時は類似した商品はなかったと記憶しています。学会会場で見たときの第一印象は「面倒そうだな」ということでした。1つ薬を調剤するごとにバーコードをスキャンしなくてはいけませんので。

ただ、薬局の経営者の立場では、人事異動などで作業する人が変わっても、どんな人が調剤してもミスをしないような体制を作りたいと考えるわけです。やはり、その点では機械の強みがありますので、その強みを活かそうと決めました。どんなに熟練した薬剤師でもミスをすることがあると思うのですが、自分がミスをしていることすら気づいていないこともあると思います。そこに気づけるのは機械の強みですよね。

——実際に導入した感想を教えてください。

2008年の開局時から「ミスゼロ子」を導入したのですが、大阪で“修行”していたときは安心感がまるで違いました。私の場合は少し年をとってから薬局で勤務し始めた分、不安が大きかったのですが、「ミスゼロ子」があればミスを見逃すことはありませんから。

機械を使うと手順が増えるのは確かなので、最初はみ



ミスゼロ子の散薬監査システム。秤量値までチェック。



ミスゼロ子のハンディターミナルをもつ佐々木氏
(左:旧型 右:新型)

んな嫌がるんですよ。ところが使い続けていくと、自信がある人でも1日に何回かミスをしていることに気付く。そのメリットを実感できると、当たり前のように使うようになります。

—業務の安心は自信につながります。

最近はジェネリックの品目数も増えているので、特に一般名処方にも自信をもって対応できるのは嬉しいですね。ほかには、ミスゼロ子の在庫管理オプションも導入しているので、その場で在庫のチェックができることもとても助



在庫管理システムオプションでは
ピッキング時に現在個数、期限を表示。

かっています。患者さんが帰る前までに在庫をチェックしているので、薬剤の間違いだけでなく、数量の間違いも防げています。

これから薬剤師が時間をかけたり注力するべきなのは、患者さんへの対応だと思います。そのためには調剤などの機械ができる仕事については積極的に機械を使って、人間でなければできない仕事の方の質を高めていくべきだと考えています。患者さんとしっかりコミュニケーションをとって信頼される薬局を目指していきたいですね。

ピッキング監査システムのバイオニア

調剤ミス防止システム

保険調剤薬局の調剤ミス防止に向けて

Since 2000

ミスゼロ子®

時代の変化に応じた様々な運用に対応！

- 柔軟なピッキング監査を運用可能
- 棚卸機能による作業時間の短縮*
- 在庫管理発注システムオプションで在庫管理可能**

*追加有償オプションとなります



- 監査時チェックでの運用も可能



ミスゼロ子の接続

SIPS NSIPSをご利用いただくことができます。

*NSIPSとは、日本薬剤師会が推奨する薬局向けコンピュータシステム間の連携システムです。

**NSIPSは社団法人福岡県薬剤師会の登録商標です。(登録登録 第5214610号)

他社・類似品とお間違えなきよう、ご注意ください。

■お問い合わせは… 株式会社 クカメディカル 調剤システム部

0120-33-2470 URL <http://www.mis0.com>